



ローターアクトの日に困んで

地区新世代奉仕委員長 吉田信秀

第2710地区では、RACは14クラブあって、約240名のアクターが活動しています。地区では、地区理事会・会長幹事会があって、国際ローターと同様、地区代表・地区幹事・分区代理等が選出され、地区組織がしっかりしていて、海外研修・指導者研修会・全国RA研修会・年次大会・周年行事・各分区会等、地区行事が活発に行われています。

今年から、これらに韓国との交流も加わってきます。その為に「今後の交流をどのようにするか」について、韓国側と話し合っている為、3月27日から訪韓しようと計画しています。

ここで、ローターアクトにとって何が問題なのか整理してみたいと思います。

問題1. ローターアクトクラブを提唱しているロータークラブは当2710地区全72クラブ中たったの14RACと極めて少ない。

問題2. 14RACの中でもアクト会員数が減少し、クラブの存続が危ぶまれているところがある。

といったところでしょうか。こうした問題は「何が原因で」こうなったのでしょうか、私なりに考えてみました。

1. どうして提唱しようとするロータークラブが少ないのか

ローターにとっては「青少年の健全育成」というプログラムは、ローターの4大奉仕中の社会奉仕部門における最重要プログラムであると認識されています。「手続要覧」には青少年の健全育成プログラムのために、多くの紙面を費やしております。最近では「新世代奉仕」となって独立した1奉仕部門であるかのような取り扱いであり「5大奉仕」といえるほどです。各ロータークラブはもし「青少年の健全育成」というプログラムに参画し、若者たちと接触したいとするならば、その手段として、ローターアクト、インターアクトを提唱しなさい、と記述されています。すなわちローター活動の若者たちの窓口としてIA、RAを提唱しよう、としている

のです。

ところが現在そうした認識をしているロータリアンが果たして何人いるでしょうか。ロータークラブにとってはローターアクトクラブが唯一若者たちとの接触の機会であります。そうした認識ができていないため、提唱できないのでは無いでしょうか。

2. どうしてアクト会員は増えないのか

ローターアクトクラブが全国的にも衰退傾向にあり、クラブの存続はしているが、会員の確保が困難である、というところが多いのです。その原因のひとつとして、ロータークラブがアクトの活動、運営について放任し、資金を提供するだけの存在になってしまった、ということがありそうです。このことは、「アクトの自主性」という美名を重んじた結果でもあります。それに加えて、アクト会員の在籍年数が比較的短期間(2~3年がほとんど)であることが起因しています。これらの要因が絡み、単一クラブとしてアクト達は「何をしたらいいかわからない」状態に陥ってしまったのです。

「青少年の健全育成」という、ローターアクトの設立の趣旨に立ち返れば、アクト活動はロータリアンの管理下のもと、ロータリアンが魅力あるプログラムを提供し、ローターの基本理念を教導しなくてはならないはずですが、アクターのみによって企画、運営されようとしている現状アクト活動には、少なからず限界がくることを理解し、ロータリアンの参画こそが活性化に繋がるのではないのでしょうか。アクトの会員数が多く、活動も活発なクラブは、ほとんどの場合ロータリアンが積極的に関与し、一緒になって汗を流しています。

以上二つの問題について論じてきましたが、どうやらロータリアンの青少年育成への情熱とローターアクトに対する深い理解こそが解決の糸口となりそうです。これを機会にローターアクトクラブに多くの関心を持っていただきますことを切にお願いいたします。